

令和5年度高齢者生きがいきづくり・生活支援活動人材育成等事業実践講座
支え合いの地域づくり担い手養成講座 開催要項

1. 趣 旨

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、地域における生活支援サービス（見守り・外出支援・家事援助・交流サロン・配食サービス等）の充実が不可欠です。一方、高齢者が地域の社会的な活動に参加することは、自身の生きがいきづくりや介護予防、閉じこもりの防止にもつながります。そこで、高齢者自らが生活支援の担い手として活躍していくことを目指し、高齢者の生きがいきづくりや生活支援の活動を実施するための運営能力や新たな活動の企画立案能力を醸成するための実践講座を開催します。

2. 主 催 山形県

3. 実施団体 公益財団法人山形県生涯学習文化財団

4. 対 象 ①概ね55歳以上の方
②高齢社会の生きがいきづくりや地域の支え合い活動に関心のある方

5. 受講料 無料

6. 定 員 30名

7. 内 容 第1回 8月3日（木）※現地学習
（別紙参照） 生きがいや支え合いを育む現場に学ぼう！
第2回 8月22日（火）
暮らしの課題を把握する手法を学ぼう！
第3回 8月31日（木）
課題に取り組むためのアクションプランを考えよう！
第4回 未定※トライアル
実際に居場所や生活支援活動をしてみよう！
第5回 10月18日（水）
活動の振り返りと次のアクションにむけて
※会場はさくらんぼタントクルセンター（東根市中央1-5-1）ほか

8. 広報方法 チラシ・ポスター、HP、市町村広報紙などでの一般募集

9. 申込方法 【氏名・郵便番号・住所・連絡先電話番号・年代・所属・受講動機・私の地域の困りごと】を明記し、7月21日（金）までに、FAX・又はメールで申し込む。後日案内を送付。

10. 申込先 〒990-0041 山形市緑町1-2-36
（公財）山形県生涯学習文化財団 学習振興部内
支え合いの地域づくり担い手養成講座担当あて
電話 023-625-6411 FAX 023-625-6415 E-mail yama@gakushubunka.jp

別紙内容

<p>1</p>	<p>8/3 (木) 9:20-12:30</p> <p>さくらんぼ タントクル センター & 研修先</p>	<p>生きがいや支え合いを育む現場に学ぼう！ 多様な団体がさまざまな形で活動する支え合いの拠点を訪ね、活動の経緯や意義、活動に込めた想いや活動内容等について学びます。※希望研修コースを選んで訪問します。コース収容人数の都合により希望に添えない場合があります。貸切バスで訪問します。</p>	<p>■現地研修先 (案) フラットこいな (東根市) よってみつ家か (東根市) 河島山シニアクラブ (村山市) 在宅介護を支える家族の会 (村山市)</p>
<p>2</p>	<p>8/22 (火) 10:00-16:00</p> <p>さくらんぼ タントクル センター</p>	<p>暮らしの課題を把握する手法を学ぼう！ 山形の超高齢社会の現実をデータで知るとともに、暮らしの困りごとや課題、その解決策を考えます。</p>	<p>■講師 堀川敬子氏 (「逢いの蔵」共同代表) 山形県生涯学習センター学習振興部職員</p>
<p>3</p>	<p>8/31 (木) 13:00-16:00</p> <p>さくらんぼ タントクル センター</p>	<p>課題に取り組むためのアクションプランを考えよう！ 第2回で学んだ課題やその解決にむけた目標やプランを検討し、実際のアクションプラン (活動実施計画) をつくります。</p>	<p>■講師 堀川敬子氏 (「逢いの蔵」共同代表)</p>
<p>4</p>	<p>第3回終了後から第5回開催前まで</p> <p>【実践研修】 ※コロナの状況により受講生のみ内部トライアルの場合あり</p>	<p>トライアル 実際に居場所や生活支援活動をしてみよう！ 第3回に作成したアクションプランにもとづき、グループごとに「居場所」を開設したり生活支援活動を実践したりするトライアルに挑戦します。</p>	<p>参考：昨年度のトライアル例 「遊んで伝える」(山形市/子どもからお年寄り、外国人もオープンマインドで付き合える多世代交流の場づくり) 「懐メロ・カフェ」(米沢市/コロナ禍でも楽しく集うことができる音楽の場づくり)</p>
<p>5</p>	<p>10/18 (水) 13:00-16:00</p> <p>さくらんぼ タントクル センター</p>	<p>活動の振り返りと次のアクションにむけて グループごとにトライアルを振り返って発表しあい、今後どのように活動に取り組んでいくかを考えます。</p>	<p>■講師 堀川敬子氏 (「逢いの蔵」共同代表)</p>